

会 議 記 録				
会議の名称	決算特別委員会 (全体会)			会議場所 全員協議会室 担当職員 鈴木 智
日 時	令和元年9月19日(木曜日)		開 議	午前 10 時 00 分
			閉 議	午前 10 時 21 分
出席委員	藤本委員長、福井副委員長(総務文教分科会委員長)、富谷環境厚生分科会委員長、 小川産業建設分科会委員長 ほか委員18人 [齊藤議長、平本議員]			
執行機関出席者	桂川市長、石野副市長、仲山副市長、神先教育長、玉井病院事業管理者、 山内市長公室長、浦企画管理部長、柏尾総務部長、吉田会計管理室長(会計管理 者)			
事務局出席者	山内事務局長、井上次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、佐藤主任、山末主査			
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	—

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

1 開 議

[藤本委員長 開議 (あいさつ)]

[事務局長 説明]

[議事調査係長 説明]

2 決算審査

[市長等 入室]

1 0 : 0 9

<市長>

平成30年度は、「夢をかたちに かたちを現実に」亀岡新時代の実現に向け、変化を恐れず、積極的かつ大胆に市政運営に取り組むことを基本に、市民本位のまちづくりを進め、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画を着実に進めていくための予算を編成した。市税やふるさと納税を初めとした財源確保に取り組むとともに、限られた財源を最大限に、効果的・効率的に活用することを基本に予算執行に努めた。その結果、予算執行はおおむね順調に推移し、市税収入は平成29年度に続き100億円を確保することができ、一般会計における実質収支についても市制施行以来の黒字決算を継続することができた。水道事業会計、下水道事業会計、また、病院事業会計については7年ぶりに、それぞれ黒字決算で純利益を計上することができた。特に、病院事業会計については、平成28年度に策定した市立病院新改革プランを着実に実行し、医療サービス向上や経営の健全化・効率化を図ってきた結果、平成30年度決算としては純利益を計上することができ、引き続き市立病院新改革プランの着実な実行に努めていく。これら決算については、

将来の財政計画や各種まちづくり計画の推進における基礎的データとなる
ところでもあり、分析・評価を怠ることなく、有効に活用していく。連日の
審議にて御苦勞をおかけするが、なにとぞ認定を賜るようお願い申し上げます。

10 : 13

〔会計管理者 決算状況の概要説明〕

10 : 19

3 その他

<藤本委員長>

各分科会は、10時30分からとする。

散会 10 : 21